

数値目標一覧

参考資料

※傾向 ◎:目標達成、○:中間評価時点より改善、▲:悪化、□:改善と悪化が混在、-:未公表

指標	2017年度 (平成29年度) 基準値 (中間評価時点の値)	2022年度 (令和4年度) 現状値	傾向	2022年度 (令和4年度) 目標値	数値の出典
健康寿命を延ばす健康づくり					
健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平均の延伸)	男性 72.15歳 女性 75.43歳 ※平均寿命 男性80.54歳 女性86.74歳 (2010, 2013, 2016年の平均値)	男性 73.45歳(+1.30) 女性 76.58歳(+1.15) ※平均寿命 男性81.41歳(+0.87) 女性87.24歳(+0.50) (2019年)	◎	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	第16回健康日本21(第二次)推進専門委員会(R3.12.20)資料3-1(国民生活基礎調査を基に算出)
がんで亡くなる県民の地域差の縮小(対県標準化死亡比最大の地域と最小の地域の比較倍率の縮小)	1.36倍 (2011~2015年)	1.29倍 (2016~2020年)	○	1.20倍 (2023年)	第3次静岡県がん対策推進計画(2023年までの目標値)
がん検診の受診率の向上	胃がん 42.6% 肺がん 52.4% 大腸がん 43.5% 子宮頸がん 43.2% 乳がん 45.4% (2016年)	胃がん 42.9% 肺がん 52.1% 大腸がん 44.7% 子宮頸がん 44.0% 乳がん 46.6% (2019年)	□	肺がんは60%以上 胃、大腸がん、乳、子宮頸がんは50%以上 (2023年)	第3次静岡県がん対策推進計画(2023年度までの目標値)
脳卒中の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性 44.3 女性 23.2 (2015年度)	男性 40.2 女性 20.4 (2020年度)	□	男性 37.8 女性 21.0 (2023年度)	第8次静岡県保健医療計画(2023年度までの目標値)
特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	特定健診受診率(40~74歳) 52.9% 特定保健指導実施率(40~74歳) 18.5% (2015年度)	特定健診受診率(40~74歳) 56.4% 特定保健指導実施率(40~74歳) 26.0% (2020年度)	○	特定健診受診率 70% 特定保健指導実施率 45% (2023年度)	第3期静岡県医療費適正化計画(2023年度までの目標値)
高血圧有病者・予備群の割合の増加の抑制	高血圧症有病者の割合 男性40~74歳 38.8% 女性40~74歳 30.9% 高血圧症予備群の割合 男性40~74歳 12.7% 女性40~74歳 10.9% (2014年度)	高血圧症有病者の割合 男性40~74歳 40.8% 女性40~74歳 30.4% 高血圧症予備群の割合 男性40~74歳 12.1% 女性40~74歳 10.5% (2020年度)	□	有病者・予備群の割合の維持	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書
収縮期血圧の平均値の低下	男性 125.8mmHg 女性 121.7mmHg (2014年度)	男性 126.5mmHg 女性 122.3mmHg (2020年度)	▲	4mmHg減少	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書
脂質異常症の有病者割合の減少	総コレステロール240mg/dl以上の者の割合 男性 19.0% 女性 23.9% LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 男性 13.7% 女性 14.7% (2014年度)	総コレステロール240mg/dl以上の者の割合 男性 20.2% 女性 24.9% LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 男性 14.5% 女性 14.3% (2020年度)	□	総コレステロール240mg/dl以上の者の割合 男性 10% 女性 17% LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合 男性 6.2% 女性 8.8%	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(特定保健指導対象者の減少率をいう。)	2008年度の18.7%減少 (2015年度)	2008年度の12.3%減少 (2020年度)	▲	2008年度の25%以上減少 (2023年度)	第3期静岡県医療費適正化計画(2023年度までの目標値)
糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	522人 (2015年)	519人 (2020年)	○	481人	日本透析医学会の公表値
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の者の割合の減少)	1.5% (2014年度)	1.0% (2020年度)	◎	1.0%	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ
糖尿病治療継続者の割合の増加	68.9% (2016年)	2023年3月公表予定	-	75%	県民健康基礎調査
糖尿病有病者・予備群の増加の抑制	糖尿病有病者の割合 男性40~74歳 11.9% 女性40~74歳 6.0% 予備群の割合 男性40~74歳 12.3% 女性40~74歳 10.5% (2014年度)	糖尿病有病者の割合 男性40~74歳 13.2% 女性40~74歳 6.3% 予備群の割合 男性40~74歳 13.4% 女性40~74歳 10.3% (2020年度)	□	有病者・予備群の割合の現状値を維持	特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書
全出生数中の低出生体重児の割合の減少	10.1% (2015年度)	9.5% (2020年)	◎	減少傾向へ	人口動態統計

指標	2017年度 (平成29年度) 基準値 (中間評価時点の値)	2022年度 (令和4年度) 現状値	傾向	2022年度 (令和4年度) 目標値	数値の出典
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している県民の割合の増加	39.3% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	80%	健康に関する県民意識調査
ふじ33プログラムを実施する市町の数	33 (2016年度)	35	◎	35	健康増進課調べ
健康マイレージ事業を実施する市町の数	24 (2016年度)	35(2019年度)	◎	35	健康増進課調べ
屋外で1日に60分以上遊ぶ子ども(幼児)の割合	32.5% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	50%以上	幼児の生活習慣に関する調査
ふじのくに健康づくり推進事業所数	109事業所 (2016年度)	6,756事業所 (2022年12月末現在)	◎	5000事業所 (2021年度)	健康増進課調べ
健幸アンバサダー養成数	0人 (2016年度)	4,033人 (2021年度末)	○	10000人 (2021年度)	健康増進課調べ
地域の場の力を利用した健康づくり					
居住地域でお互いに助け合っていると思う者の割合	57.8% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	増加傾向	健康に関する県民意識調査
住んでいる地域で問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとしていると感じている者の割合	55.8% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	増加傾向	健康に関する県民意識調査
健康づくりを目的としたボランティア活動に関わったものの割合	40.6% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	増加傾向	健康に関する県民意識調査
健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業等の登録数(静岡県内)の増加	91 (2017年1月現在)	188 (2023年1月末現在)	◎	増加傾向	Smart Life Projectの公表値
健康づくりサポーターの数	2,386件 (2017年10月現在)	2,460件 (2021年3月末現在)	○	2500件	健康増進課調べ
高齢者(60歳以上)の社会参加の促進(就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加)	男性 72.5% 女性 63.3% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	増加傾向	健康に関する県民意識調査
ふじのくに健康づくり推進事業所数[再掲]	[109事業所]	6,756事業所 (2022年12月末現在)	◎	[5000事業所]	[再掲]
健幸アンバサダー養成数[再掲]	[0人] (2016年度)	4,033人 (2021年度末)	○	[10000人]	[再掲]
領域別に進める健康づくり[食育]					
栄養バランスのとれた朝食をとっている幼児・児童・生徒の割合の増加	幼児 35.5% 小6年 52.0% 中2年 45.3% 高2年 32.0% (2016年度)	幼児 42.9% 小6年 46.1% 中2年 45.6% 高2年 43.6% (2021年度)	□	幼児 50% 小6 55% 中2 50% 高2 50%	朝食摂取状況調査(教育委員会)
朝食を1人で食べる子どもの割合の減少	幼児 17.9% 小6年 29.4% 中2年 45.3% 高2年 62.3% (2016年度)	幼児 16.7% 小6年 25.0% 中2年 41.2% 高2年 62.1% (2021年度)	○	減少傾向へ	朝食摂取状況調査(教育委員会)
朝食を毎日食べる幼児、児童、生徒の割合	幼 98.5% 小 98.2% 中 96.2% 高 96.4% (2016年度)	幼 98.3% 小 97.9% 中 95.8% 高 96.0% (2021年度)	▲	100%に近づける	朝食摂取状況調査(教育委員会)
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日があるほぼ毎日の者の割合の増加	45.3% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	80%	県民健康基礎調査
野菜摂取量平均値の増加(20歳以上の男女)	男性 291.1g 女性 253.7g	2023年3月公表予定	—	350g以上	県民健康基礎調査
果物100g未満の割合の減少(20歳以上の男女)	56.6% (2016年)	—	—	30%未満	—
食塩摂取量平均値の減少(20歳以上の男女)	男性 10.6g 女性 9.2g (2016年)	2023年3月公表予定	—	男性8.0g未満 女性7.0g未満	県民健康基礎調査
肥満傾向の児童の割合の減少	小 6.7% 中 7.1% 高 7.5% (2016年度)	小 8.2% 中 8.5% 高 6.5% (2021年度)	□	減少傾向へ	学校保健統計
肥満者の割合の減少(20~60歳代男性) 肥満者の割合の減少(40~60歳代女性) やせの割合の減少(20歳代女性)	25.1% 15.2% 23.8% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	22% 15% 20%	健康に関する県民意識調査

指標	2017年度 (平成29年度) 基準値 (中間評価時点の値)	2022年度 (令和4年度) 現状値	傾向	2022年度 (令和4年度) 目標値	数値の出典
低栄養傾向(BMI20以下)の割合の増加の抑制(65歳以上)	18.6% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	21%	健康に関する県民意識調査
ヘルシーメニュー(食塩や脂肪が少ない、野菜が多い等)の提供をしている特定給食施設(事業所、一般給食センター)の割合の増加	78.1% (2016年度)	78.1% (2022年度)	○	100%	給食施設実態調査
管理栄養士・栄養士を配置している特定給食施設の割合の増加	75.1% (2016年度)	77.7% (2022年度)	○	80%	給食施設実態調査
緑茶を毎日飲む者の割合の増加(20歳以上)	44.1% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	70%	健康に関する県民意識調査
領域別に進める健康づくり[運動・身体活動]					
1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合	男子6.5% 女子10.8% (2016年度)	男子 8.0% 女子 13.4% (2019年度)	▲	減少傾向へ	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 児童調査小学5年生(文部科学省)
日常生活における歩数の増加	20～64歳 男性 7,853歩 女性 7,058歩 65歳以上 男性 6,047歩 女性 5,077歩 (2016年)	2023年3月公表予定	—	20～64歳 男性 9,000歩 女性 8,500歩 65歳以上 男性 7,000歩 女性 6,000歩	県民健康基礎調査
運動習慣のある者の割合	20～64歳 男性 20.0% 女性 16.7% 65歳以上 男性 37.7% 女性 31.4% (2016年)	2023年3月公表予定	—	20～64歳 男性 36% 女性 33% 65歳以上 男性 58% 女性 48%	県民健康基礎調査
足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(1,000人当たり)	男性 206人 女性 247人 (2016年)	男性 206人 女性 255人 (2019年)	□	男性 200人 女性 260人	国民健康生活基礎調査
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している県民の割合の増加〔再掲〕	[39.3%] (2016年度)	2023年3月公表予定	—	[80%]	健康に関する県民意識調査 〔再掲〕
ふじ33プログラムを実施する市町の数〔再掲〕	[33]	35	◎	[35]	〔再掲〕
領域別に進める健康づくり[休養・こころ]					
睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少(20歳以上)	19.1% (2016年)	2023年3月公表予定	—	15%以下	県民健康基礎調査
気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少	14.1% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	9.4%	健康に関する県民意識調査
自殺による死亡者数の減少	602人 (2016年)	539人 (2021年)	○	500人未満 (2021年)	第2次静岡県自殺総合対策行動計画の指標
領域別に進める健康づくり[たばこ・アルコール・薬物]					
成人の喫煙率の減少(喫煙習慣のある人の割合)	20歳以上男性 31.6% 20歳以上女性 9.4% 20歳以上計 20.1% (2016年*不詳除く) 〔参考〕 男性27.5%、女性7.1%、 男女計17.0% (2016年 無回答除く)	20歳以上男性 29.0% 20歳以上女性 8.7% 20歳以上計 18.6% (2019年*不詳除く)	○	12%	国民生活基礎調査 (参考部分:健康に関する県民意識調査)
受動喫煙(家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関)の機会を有する者の割合の減少	行政機関 11.0% 医療機関 10.2% 職場 29.3% 家庭 6.4% 飲食店 44.7% *習慣的喫煙者でない者の受動喫煙の状況、「月1回程度」以上、「家庭」のみ「毎日」(2016年)	2023年3月公表予定	—	行政機関 0% 医療機関 0% 職場 0% 家庭 3% 飲食店 15%	健康に関する県民意識調査

指標	2017年度 (平成29年度) 基準値 (中間評価時点の値)	2022年度 (令和4年度) 現状値	傾向	2022年度 (令和4年度) 目標値	数値の出典
家族の中で喫煙する人がいる幼児の割合	40.1% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	0%	幼児の生活習慣に関する調査
妊娠中の喫煙をなくす	1.9% (2016年度)	1.5% (2022年度)	○	0%	健康増進課調べ
妊娠中の飲酒をなくす	3.4% (2016年度)	2.6% (2022年度)	○	0%	健康増進課調べ
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少	男性 11.9% 女性 8.3% (2016年)	2023年3月公表予定	—	男性 10.0% 女性 6.4%	県民健康基礎調査
COPDの認知度の向上	35.4% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	80%	健康に関する県民意識調査
領域別に進める健康づくり[歯]					
5歳児でむし歯を経験した歯が5本以上の者の割合の減少	11.1% (2016年度)	7.3% (2021年度)	◎	10%	5歳児歯科調査
12歳児(中学校1年生)でむし歯を経験したことがない者の割合の増加	73.6% (2016年度)	80.2% (2021年度)	◎	75%	学校歯科保健調査
中学校3年生で、むし歯を経験した歯が5本以上の者(むし歯多発者)の割合の減少	6.5% (2016年度)	4.3% (2021年度)	○	4%	学校歯科保健調査
20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	36.7% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	25.0%	健康に関する県民意識調査
35-44歳で28本以上の者の割合の増加	63.9% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	75%	健康に関する県民意識調査
40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	38.5% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	25.0%	健康に関する県民意識調査
60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	73.5% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	80%	健康に関する県民意識調査
60歳(55-64歳)で24本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	55.7% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	70%	健康に関する県民意識調査
60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	56.6% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	45%	健康に関する県民意識調査
80歳(75-84歳)で自分の歯が20本以上ある人の割合	47.2% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	52%	健康に関する県民意識調査
予防のために1年に1回以上、歯の健診を受けている者の割合の増加	41.5% (2016年度)	2023年3月公表予定	—	65%	健康に関する県民意識調査